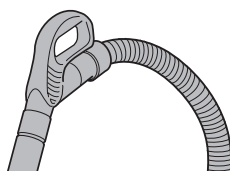
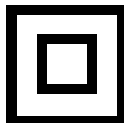
Hitachi Koki

形　名

FRP 35

取扱説明書

〔乾湿両用〕

日立工機電動工具用集じん機

二重絶縁

このたびは、日立電動工具用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

はじめに

使い方

その他

用　途

- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 床にこぼした水などの液体吸引

HITACHI

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

集じん機の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。
- 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 作業に合った集じん機を使用してください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑥ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

⚠警告

⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑩ 油断しないで十分注意して作業してください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

⑫ 集じん機の修理は、専門店に依頼してください。

- この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお申し付けください。
  ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁をしてあり、銘板に 回 マークで表示してあります。

異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご用命ください。

本製品の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

① 定格 15 A以上のコンセントを単独で使用してください。

- 他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。

② 以下のものは吸込まないでください。

- 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
- 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
- 引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
- 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
- 木片、金属、石、ひもなど。
- セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
- 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
  火災やけがの原因になります。

③ フィルタは正しくセットして使用してください。

- フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
  モーターが故障する原因になります。

④ 機体や電源プラグに水や油などをかけたりしないでください。

- この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

⚠警告

⑤ 機体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。

• モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。

⑥ フロートが動作したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。

• モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。

⑦ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。

• 感電や故障の原因になります。

⑧ 転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。

• 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

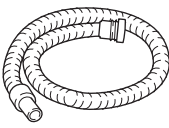
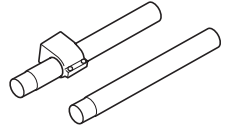
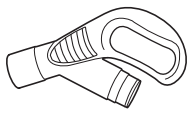
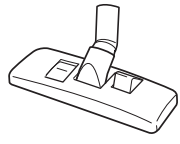
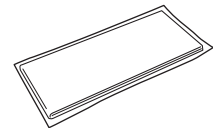
⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

• 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑩ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。

• そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑪ この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。

• 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部のなまえ

標準付属品		
ホース（内径φ38×長さ 1.8 m）1本	延長管 2本	ホース接続ハンドル 1個
床用吸口 1個	すき間用吸口 1個	ポリ袋（650 mm×600 mm）（10枚入り）1個

ご使用前の準備・点検

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長（継ぎ）コードを使う場合

⚠警告

延長（継ぎ）コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ（mm^2）	最大の長さ（m）
1.25	10
2	15
3.5	30

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
上表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さです。

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

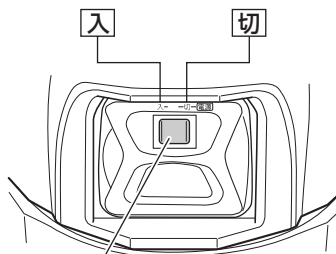
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

●スイッチ「切」の確認

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチは、「入」側を押すと運転し、「切」に戻すと停止します。

電源プラグさし込み時は、スイッチが「切」になっていることを必ず確認してください。

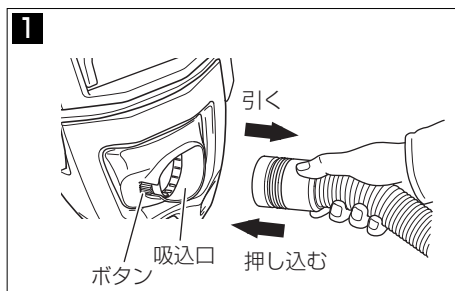
はじめに
使い方

ホース（床用吸口他）の接続

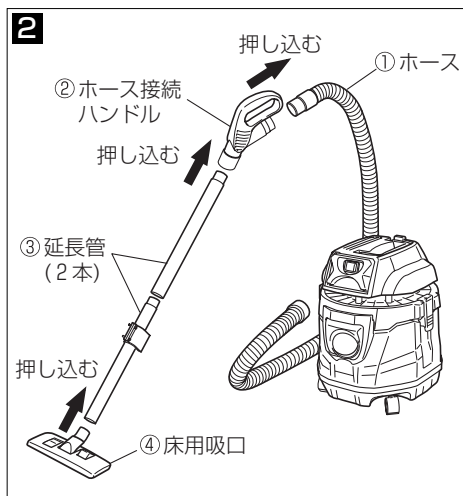
掃除機として一般清掃作業する場合は、付属のホース接続ハンドル、延長管、床用吸口等をホースに接続してご使用ください。

⚠注意

乾燥した時期に集じん作業をすると、静電気を感じる場合があります。
この場合は別売部品の帯電防止ホースを使用してください。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 付属のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。

ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。

2 ①ホース、②ホース接続ハンドル、③延長管、④床用吸口の順に、矢印方向に押し込んで接続します。

用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。

ポリ袋の取付け（ポリ袋なしでもご使用できます）

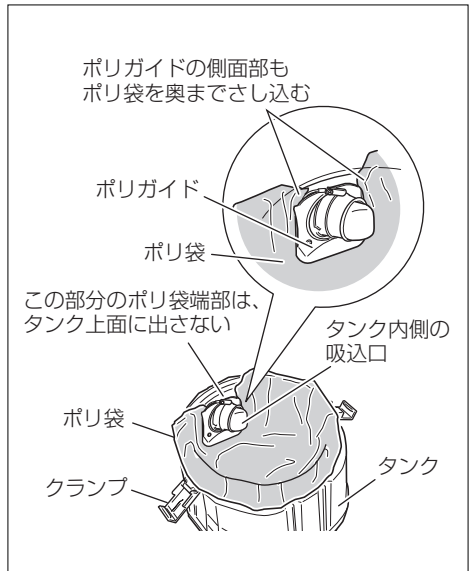
1 クランプ（2個）をはずし、取っ手（P5「各部のなまえ」参照）を持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。

タンク内のフィルタ、フィルタケージを取りはずしてください。

2 タンク内側とポリガイドの間に付属のポリ袋をさし込みます。

まず下側にさし込み、次に側面の順にさし込んでください。

3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。フィルタ、フィルタケージを入れ、フィルタパッキン部がポリ袋をしっかりはさみ込むようフィルタを取付けてください。

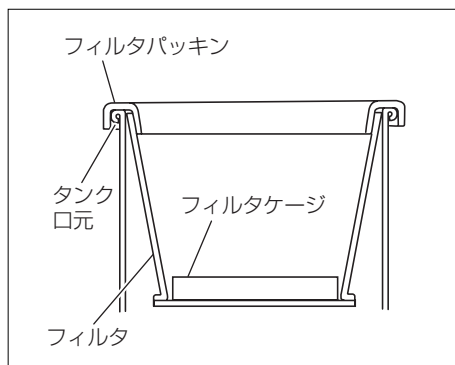
（P9「フィルタの取付け・確認」参照）

注
- **市販品のポリ袋は、20 L（幅 530 mm×深さ 600 mm）が使用可能です。ただし厚さ 0.04 mm以上のものをご使用ください。**
- **ポリ袋には粉じんをためすぎないでください。**
  ポリ袋が破れる原因になります。
- **吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください（上図参照）。**
  タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、吸込口がふさがれ、集じんできません。

フィルタの取付け・確認

⚠警告

- **付属の布フィルタは、必ず取付けてください。**
  モーターが故障する原因になります。
- **サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする場合は、別売部品の紙フィルタを使用してください。詳細は、P 16「紙フィルタの取付け方」を参照してください。**
- **付属の布フィルタは乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも取りはずさないでください。**

1 フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

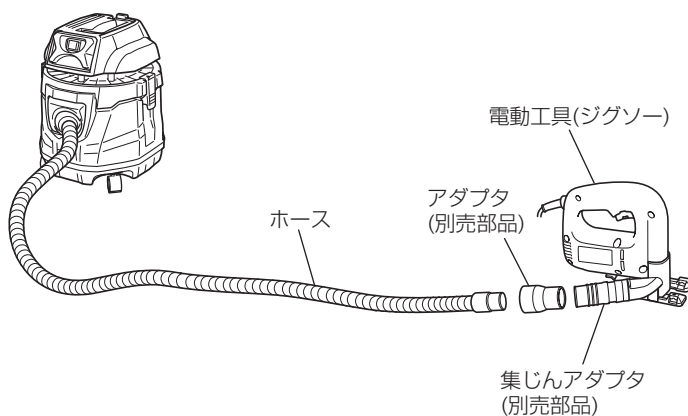
2 フィルタの底部にフィルタケージが入っていることを確認してください。

注 **ナイロンフィルタ（別売部品）も同じ手順で取付けてください。**

電動工具との接続

⚠警告

- 消費電力 285 Wを超える電動工具は、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
- 火花を発生する作業の集じんはできません。

ホースに別売のアダプタをさし込み、電動工具へ接続します。

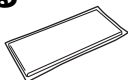
接続する電動工具によって、さらに別売部品の「集じんアダプタ・ジョイント」が必要となります。

集じんする

- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 床にこぼした水などの液体吸引

⚠警告

- **フィルタは、必ず取付けてください。**
  モーターが故障する原因になります。
- **ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。**
  急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
- **消費電力 285 Wを超える電動工具は、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。**
- **粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。**

1 ポリ袋を取付ける

必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。
（P8「ポリ袋の取付け」参照）

2 フィルタを確認する

タンク内に正しく取付けてあることを確認します。
（P9「フィルタの取付け・確認」参照）

注 **ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。**
ホースが変形する原因になります。

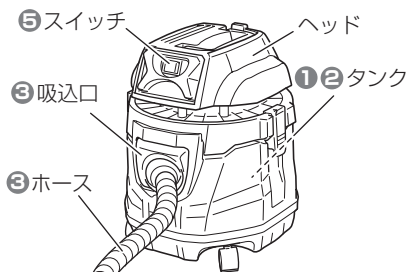
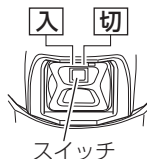
3 ホースを電動工具へ接続する

- タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。

- 必用に応じて別売の集じんアダプタ・ジョイントで、ホースを電動工具へ接続します。
（P7「ホースの接続」参照）
（P10「電動工具との接続」参照）

4 電源プラグをコンセントにさし込む

5 スイッチを入れる

「入」を押して運転、「切」に戻して運転を停止します。

フィルタのちり落とし

⚠警告

• 必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
• 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

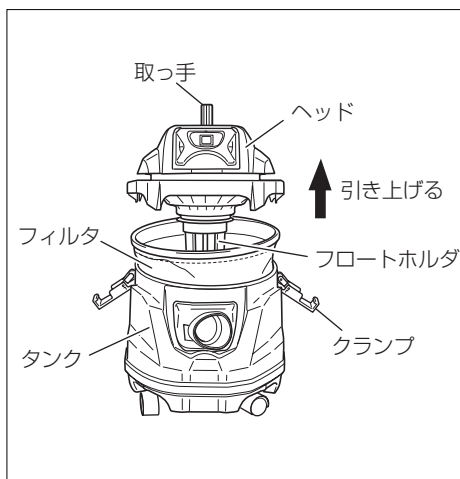
⚠注意

粉じんが満杯になっていると吸込み力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に、粉じんは早めに捨ててください。

運転中に吸込み力が低下した場合、フィルタのちり落としをしてください。

1 クランプ(2個)をはずして、取っ手を上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 フィルタがタンクに組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。吸込み力が回復します。

3 ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。

粉じんを捨てる

⚠警告

- **必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーターが故障する原因になります。**
- **粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。**

注
- **粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。**
  ポリ袋が破れる原因になります。
- **ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。**
  ポリ袋が破れる原因になります。
- **ヘッドやタンクに付属品(延長管、吸口等)をさし込んだまま機体を倒さないでください。**
  機体が破損する原因になります。

1 クランプ(2個)をはずして、取っ手を上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 フィルタの内側面を数回軽くたたいて、フィルタに付着した粉じんを落とします。
次にタンクからフィルタとフィルタケージを取りはずします。

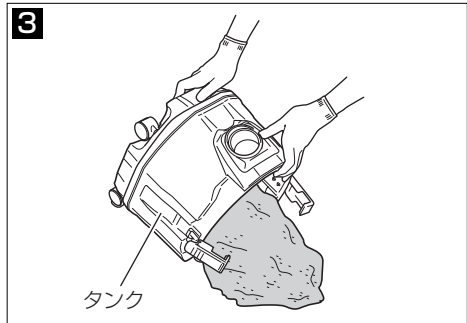
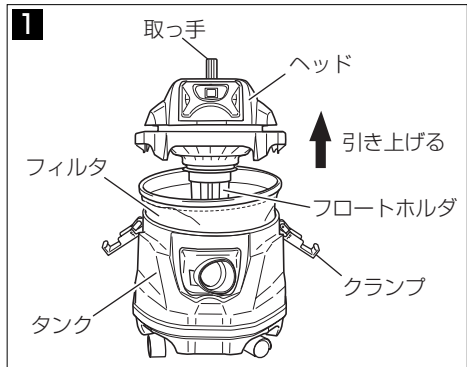
3 タンクを倒し、粉じんを捨てます。

4 フィルタ、フィルタケージ、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。

⚠注意

- **タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。**
  変形、破損の原因になります。
- **粉じんの吸込み量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日1回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。**
  吸込み力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- **タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。**
  クランプが破損する原因になります。

フロート機構

⚠警告

- **フロートが働いたままで、運転を続けないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーターが故障する原因になります。
- **洗剤など発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。**
フロートが働く前に排気口から泡がふき出します。そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この機体には、一定量以上の水を吸込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構がついています。

フロートが動作して、水を吸込まないときは、速やかにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、タンク内の水を捨ててください。

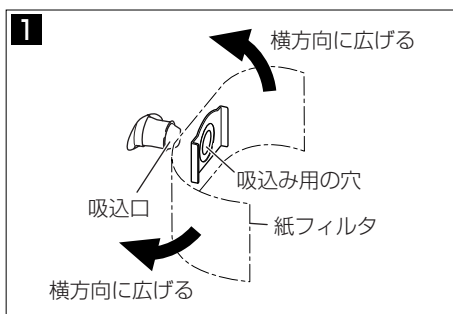
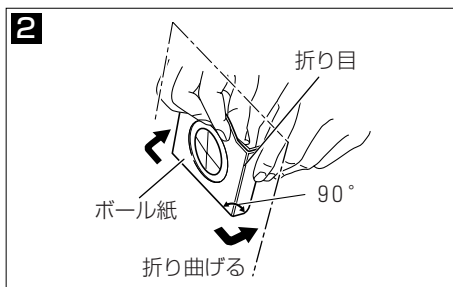
紙フィルタ(別売部品)の取付け方

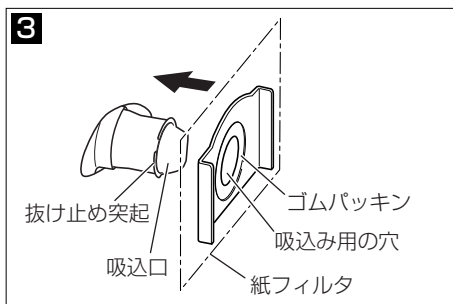
⚠警告

- **必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **紙フィルタを使用するときは、付属の布フィルタと併用してください。**
  万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠注意

紙フィルタ使用時は、水などの液体、湿った粉じんを吸わせないでください。
破ける原因になります。

1 紙フィルタの吸込み用の穴がタンクの上側になるよう、紙フィルタを横方向に広げます。

2 機体に装着する前に、ボール紙についている 2 ヵ所の折り目を矢印の方向へ約 90° 折り曲げます。

3 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込口に合わせます。

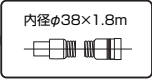
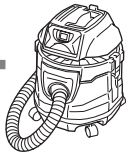
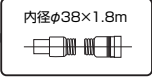
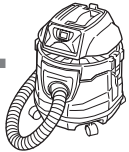
図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。

別売部品の紹介

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

部　品　名	用　途
紙フィルタ（5 枚入り）	紙フィルタごと捨てることで、清潔にゴミ捨てができます。 水は吸引できません。 紙フィルタ使用時は、布フィルタを併用してください。
ナイロンフィルタ	水、湿った粉じんを吸引するとき使用します。
ホース（内径φ 38 ×長さ 5 m）	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。 電動工具と接続しても使用できます。
ホース（内径φ 25 ×長さ 5 m）	内径が細く 5 mと長いため、電動工具と接続して使用するとき使用します。
ホースカバーセット （ホースカバー1本、ホースバンド 3 本）	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド（ゴム製）（5 個入り）	ホース（内径φ 25 ）と電動工具のコードを束ねて、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド（5 個入り） （呼径：φ38 、φ60 、φ75 ）	ホース（内径φ 25 ）と電動工具のコードを束ねて、物に引っ掛かりにくくします。
各種電動工具接続用アダプタ・ジョイント	P 17 ～ 19 参照【詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。】

適 用 機 種
別売部品
集じんアダプタ
電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント
ホース
集じん丸のこ
集じんアダプタ不用
集じん丸のこ
セット品〔 〕含む
アダプタ
ホースバンド
アダプタ
(L字形)
リフォーム用丸のこ、丸のこ
集じんアダプタセット
丸のこ、造作丸のこ
深切り電子丸のこ
深切り電子造作丸のこ
コードレス丸のこ
コードレス丸のこ
ジグソー
ジグソー
集じんアダプタ不用
サンダ
ミニサンダ・ベルトサンダ
集じんアダプタ不用
コードレスチップソーカッタ
集じんアダプタ不用
アダプタ
(別売)
内径φ38×1.8m

適用機種
別売部品
集じんアダプタ
電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント
ホース
卓上丸のこ、ベンチ丸のこ、
テーブル丸のこ
(ホースバンド付)
ジョイント
(別売)
アダプタ
(別売)
内径φ38×1.8m
カッタ
ディスクサンダ
ダイヤモンドカッター(カップ形)使用
(100mmディスクグラインダ)
100mm・125mm
ディスクグラインダ
(ダイヤモンドカッター使用時)
(カップダイヤ用)
アダプタ
(別売)
内径φ38×1.8m
振動ドリル
ハンマドリル
ドリルビット専用
(錐径11～22mm
長さ280mmまで)
ロータリーハンマドリル
ドリルビット専用
(錐径5～18mm
長さ209mmまで)
カッタ
集じんアダプタ不用

その他

適用機種
別売部品
集じんアダプタ
電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント
ホース
ルーター
ルーター
かんな
小穴カッタ
（φ31ホース使用不可）
アダプタ
（別売）
内径φ38×1.8m
125・150・180mm
ディスクグラインダ
（ダイヤモンドカッター使用時）
ホイールガードベースセットと
合わせてご使用下さい。
ホイールガードベースセット
集じんアダプタ
ジョイント
（別売）
アダプタ
（別売）
内径φ38×1.8m
ロータリハンマドリル
振動ドリル
ロータリハンマドリル
アダプタ(A)

点検・お手入れする

⚠警告

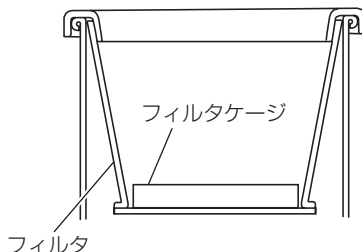
- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。
  感電やけがの原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

●フィルタのお手入れ

フィルタが目詰まりしますと、吸込み力が著しく低下しますので、フィルタに付着した粉じんは、こまめに取除いてください。

ちり落としのしかたは、フィルタケージを持って、フィルタの内側を軽くたたきます。

水にぬれたフィルタで粉じんを吸引すると、すぐ目詰まりして吸引力が低下します。

フィルタは、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。

注
- フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
- フィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。
  ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

その他

●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

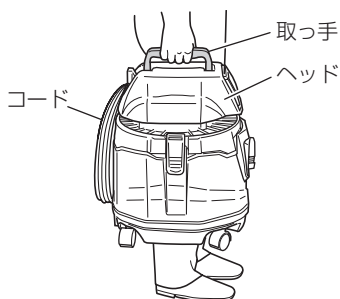
注
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

運搬・収納

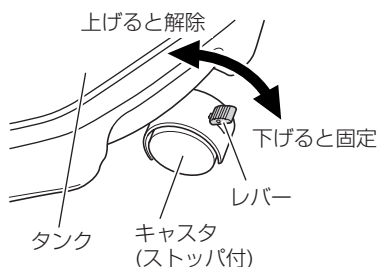
●取っ手の使い方

運搬・移動する場合は、右図のようにヘッド部の取っ手を持って行います。

取っ手を使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

●キャスタの固定・解除

キャスタ（ストッパ付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。

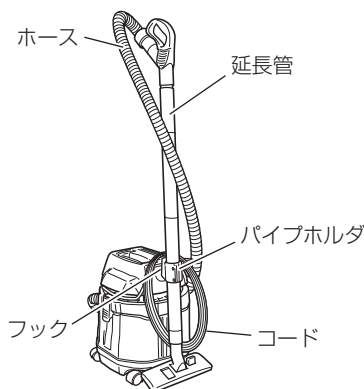
車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。

機体を収納しておく場合、あるいは掃除の途中で作業を中断する場合、キャスタを固定すると機体の動き止めができて便利です。

 機体を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

●機体を収納する

掃除の途中で作業を中断したいときは、延長管のパイプホルダをフックに引っ掛けてください。

また、コードを束ねてフックに引っ掛けることができます。

その他

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでもなおらない場合はお買い求めになった販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合せください。

症　　状	考えられる原因	処　　置
モーターが回転しない	電源プラグがさし込まれていない。	電源プラグをコンセントにさし込んでください。
吸込み力が弱い または吸込まない	タンク内で粉じん、または水が満杯になっている。	タンク内の粉じん、または水を捨ててください。 （P13、14参照）
	フィルタが目詰まりしている。	フィルタに付着した粉じんを落としてください。 （P12、20参照）
	紙フィルタが満杯になっている。	新品の紙フィルタに交換してください。 （P15参照）
	ホース内部や吸口に粉じんや異物が詰まっている。	粉じん、異物を除去してください。 （P7参照）
排気口から 粉じんが漏れる	フィルタが取付いていない。	フィルタを取り付けてください。 （P9参照）
	フィルタが破れている。	新品のフィルタと交換してください。 （P9参照）

仕　様

使用電源	単相交流 50／60 Hz 共用　電圧 100 V
モーター	単相直巻整流子モーター
用途	乾湿両用
電流	12 A
消費電力	1140 W
最大風量	3.5 m^3／min
最大真空度	25.5 kPa｛2600 ㎜水柱｝
集じん容量	12 L
吸水容量	11 L
フィルタの種類	布フィルタ
外形寸法	奥行 345 ×幅 335 ×高さ 415 ㎜
質量※	6.4 kg
コード	2 心キャブタイヤケーブル 5 m

※コード、付属品を除く。

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。
正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。
また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

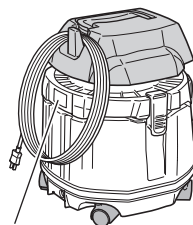
本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は裏表紙に記載の「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店（部）名	電話番号
全　国	港　区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札幌市	北海道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙台市	東　北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以東	台東区	東　京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名古屋市	中　部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金沢市	北　陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	大阪市	関　西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広島市	中　国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高松市	四　国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福岡市	九　州	(092) 621 - 5772

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（No.）などを下欄にメモしておかれますと、サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日
販売店名 ☎（　　）　　ー	
製造番号（No.）	

（製造番号が表示されています。）

「電動工具お客様相談センター」　フリーダイヤル 0120－208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00～午後5：00）
電動工具ホームページ――http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2-15-1（品川インターシティA棟）
国内営業本部　　TEL（03）5783-0626（代）

808
部品コード　C99176701